

# 週報

【2022/11 第2例会】

例会日：毎週金曜日  
 例会場：碧海信用金庫本店3F 安城市御幸本町15-1  
 TEL: 0566-75-8866 FAX: 0566-74-5678  
 Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp  
 HP: <http://www.anjo-rc.org>  
 ■創立日：S33年1月10日  
 ■RI加盟認証日：S33年2月6日

## 第3118回例会

2022年11月18日(金) 12:30~13:30

司会者：滝田 有里さん

ソング：「四つのテスト」「手に手つないで」

ニコボックス委員会：永井 慎悟君

雑誌委員会：野田 敏男君

ゲスト及びビジター：

深津 貴弘様 安城商工会議所青年部 会長

神谷 啓介様 安城商工会議所青年部 副会長

杉山 哲一様 安城商工会議所青年部 広報委員会 委員長

杉浦 圭一様 安城商工会議所青年部

加藤 弘様 功労会員

出席報告者：柴田 勝久君

全会員数	53名
現在出席義務者数	42名
本日の出席人数	39名
内出席免除者の出席人数	
出席率	83.00%

2022-23年度：RIテーマ

「IMAGINE ROTARY」

安城ロータリークラブ会長方針：

「チャレンジロータリー、笑顔で学ぼう」

■会長：奥田 法行

■幹事：市川 護

■クラブ会報：赤木禎行・辻隆士・恒川憲一・成田孝則



## ■ 会長挨拶

奥田 法行会長

1. 理事会の報告
2. 11/12・13 地区大会
3. 11/17 安城学園創立110周年



## SDGs 14 『RI会長テーマについて』

RI会長ジェニファーE. ジョーンズさんは初の女性会長です。地区大会でのメッセージをご紹介します。地区大会はロータリーの奉仕への情熱を高め、お互いの功績からインスピレーションを得られる場です。私たちはこの素晴らしい組織でリーダーの役割を担っています。他の人々にもロータリーの活動に参加し、リーダーシップを共に発揮してもらう必要があります。夢を持っていても行動するかどうかは私たち次第です。ロータリーのような団体がポリオの根絶や平和の実現といった大きな夢を抱くとき、その夢を実現する責任は私たち自身にあります。

想像してみてください。私たちが最善を尽くせる世界を。目覚めるたびに世界に変化をもたらせると確信できる世界です。想像してください。ポリオのない世界を。誰もが安全な水を使える世界。疾病のない世界。すべての子どもが読み書きを学べる世界。やさしさ、希望、愛、平和にあふれる世界を。

今年のテーマは「**イマジン ロータリー**」です

皆さんはこれまでにロータリーで多くの変化を経験してきたからこそ、今日この場に集まっています。

皆さんの語るストーリーはクラブに意欲や行動力を与え、次年度に向けた準備を促すことができます。皆さんのリーダーシッ

### 「第1日目」名古屋観光ホテル：11月12日15:00～

#### ◆1部：米山記念奨学委員会活動報告 ビデオ上映

活動報告 2018-19年度米山奨学生/王キキさんの発表がありました。

2018-19年度にロータリーの米山奨学生になりました。世話クラブは安城ロータリークラブです。2019年、碧海信用金庫に入社して、国際業務グループで海外為替業務を行なって、今は社会人として4年目です。

ロータリークラブにお世話になった一年間は私の留学生活にとって、とても幸せで、有意義な一年間でした。この一年間、私はロータリアンと奨学生、学友たちと一緒に素敵な名古屋城を見学したり、きれいな芸者さんのお踊りを拝見しました。地区大会では交換留学生と世界文化の交流を行いました。琵琶湖の秋の旅行ではいろんな綺麗な風景を満喫して、とても楽しかったです。カウンセラーの内藤さんと一緒に、安城市の七夕祭りを楽しみました。また伊勢神宮の歴史を深く研究してよい思い出がいっぱいできました。

留学生生活を充実させていただいたロータリークラブの方々に感謝いたします。これから、私もロータリーの奉仕の精神を学び、人への思いやり、人を助けて、助け合うことを楽しみ、ささやかな行動でも実践したいと思います。現在はボランティアで中国語を教えています。

## ◆2部: 青少年フォーラム

地区ロータリー奉仕委員長/長瀬 輝代之あいさつ

パネルディスカッション モデレーター/大野 真以  
(愛知ロータリーEクラブ会員)

パネラー インターアクト代表者: 服部 夏子  
ローターアクト代表者: 山田 弘樹  
RYLA代表者: 小島 夏帆  
青少年交換代表者: 高木 彩音

まとめ ガバナー補佐(青少年担当)山内有恒  
RI会長代理歓迎晩餐会 18:00 開会



### 「第2日目」

愛知県国際展示場: ホールBにて11月13日(日)に開催されました。

安城RCからは多くの会員の方に参加いただきました。籠橋ガバナーの点鐘で大会はスタートしました。RI会長代理は辰野克彦(東京西RC)様が務められました。

辰野様は2020年7月から2022年6月までRIの理事をつとめられてみえました。

感謝状・表彰では、匿名パストガバナーに感謝状が贈られました。

又、安城RCは地区表彰(2021-22年度)

①. ガバナー特別賞 有意義な事業部門

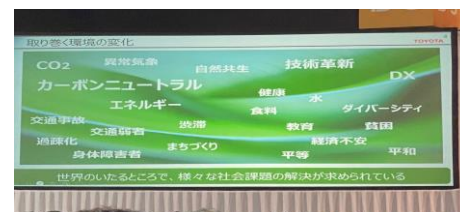
②. ロータリー財団優秀クラブ、年次基 金寄付/会員1人あたり上位5クラブ

③. 米山寄付優秀クラブ、米山普通+特別寄付/会員1人あたり上位5クラブを受賞いたしました。

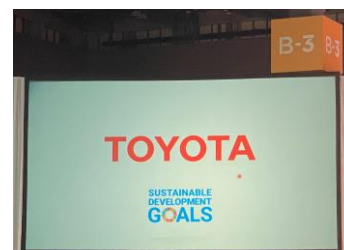


### 「第2日目」記念講演

記念講演は、トヨタ自動車株式会社 取締役会長の内山田竹志氏の「2050年カーボンニュートラル実現を目指して～水素社会実現への取り組み～」と題して、環境問題をどうして克服していくべきか、これからの地球を守っていく為にやらなくてはならないこと、現在行われている多くの取り組みについて講演されました。



### トヨタの目指しているもの



## ■ 幹事報告

市川 護幹事

1. 本日例会終了後、65周年実行委員会を会議室にて開催致します。
2. 11/23(水・祝)はガバナー補佐杯です。
3. 11/25(金)は定款により休会です。
4. 12/18(日)の会員家族親睦例会の登録料集金は、12/2・9に行います。
5. 先日の地区大会において、当クラブはロータリー財団と米山記念奨学会より表彰状と感謝状を頂きました
6. 5/27～開催の、国際大会・国際大会日本人親善朝食会及びガバナーナイトのご案内を配布いたします。
7. ワクチン接種に申し込みいただいた方は、希望された日時に予約してありますので、三河安城クリニックにて接種ください。
8. 1/14(土)安城青年会議所「新年賀詞交換会」が行われます。出席されたい方回覧ファイルにある登録用紙に記入ください。(登録料は個人での事前振り込みとなります。)



## 【本日のセレモニー】

- ・ロータリーの友発表 野田敏男君
- ・ロータリー財団より  
ベネファクターの認証状・バッジ授与 戸谷 央君
- ・安城商工会議所青年部より事業PR



## ◆ 会員卓話

担当: 会員卓話 辻 隆士君

### テーマ「自分のこと・仕事のこと」

本日卓話をさせていただきます辻です。

卓話の内容といたしまして、自分が何者なのかご理解していただくこととして、一つ目に自分の生い立ち、二つ目にロータリクラブに入会させていただいた経緯、三つ目に自分の生業、仕事のこと、最後に仕事の実演をさせていただきます。  
どうぞ宜しくお願い致します。



先ず自分の生い立ちを話させていただきます。

私は昭和42年12月25日クリスマスの夜に生を受けました。故郷は高山市清見町です。ここは2005年の平成の大合併までは岐阜県大野郡清見村という小さな村でした。人口2700人ほどの森林が96%をしめる自然豊かな場所で、現在は整備されたせせらぎ街道や、東海北陸自動車道のインターが2か所あります。6年前、富岡さんが会長の時、富山県の砺波市への親睦旅行の際に、高速道から見える実家近辺の景色を見ていただきました。

学校は1学年1クラスしかなく、保育園から中学校まで12年間変わることなく同じ仲間と過ごしました。夏は涼しく冬は雪も多く降りましたので、こちらとは違って夏休みが2週間ほど短く、冬休みが少し長かったと記憶しております。現在は違いますが、私たちの子供のころは体育でプールの水泳がなく、夏休みに川の遊泳場で泳ぎ、冬は体育の授業を集約して学校近くのスキー場に全校で行きスキーを習うというものでした。現在もたまに大雪は降りますが雪不足などで時代の流れと共に近くのスキー場もいくつか閉鎖されてしまいました。

私自身は3人兄弟の末っ子で、上に兄と姉がおります。実家は代々専業農家を営んでおり、父の代から牛の飼育を始め畜産を営むようになりました。

現在は兄が家業を継ぎ飛騨牛の飼育を続けております。

こちら愛知県に出てきた理由としましては、高校3年の就職活動でどんな仕事がいいかと考えていた時に、幼少より絵や文字を描くことが好きで図工が得意というか図工しか成績は良くなかったため、それを生かせる仕事はないかと探していました。求人が刈谷市の看板制作会社より出ており、就職試験をクリアすることができ、昭和61年4月に刈谷市の看板制作会社に就職しました。その会社では1年半ほどお世話になり、いろいろなご縁をいただき、平成2年、現在の株式会社アコーデザインに就職しました。看板工として10年程過ぎたころ先代の経営者から自分が60歳になったら代表を代わると言われ、平成13年34歳の時に代表者に就任いたしました。5年程は見習い社長のような感じでした。

仕事で何かあった時などお客様から「社長呼んで来い」、と言われ「僕です」と答えると見た目がまったく社長らしくなかったためか、余計に叱られ、大変な思いをすることも多々ありました。今考えると、自分の自信のなさが態度にでてしまっていたのかなと思います。そんなころ、仕事で商工会議所に納品にいった時に、職員の菊地さんから、若手の経営者の集まりがあるからと、商工会議所青年部の入会申込書をもりました。仕事の業界だけで、お客様以外の異業種との関わりがほぼ無かった自分にはよいかと思入会させていただきました。商工会議所青年部に入会して地域活性化の、事業などをやらせていただいて、いろいろな職種の先輩、後輩仲間が増えました。榮君や大坪さんともそこで出会えました。その中で亡くなられた鶴田さんのご主人には多くのことを教わり大変お世話になりました。

青年部活動で夜に委員会や例会を行ったあと、良く食事や飲み会のため夜の街によく繰り出しておりました。2010年に青年部の会長を務めさせていただいた時に、あるお店に入った時、細井さんにお会いしました。その時、細井さんからロータリクラブへの入会を勧められました。

細井さんは以前からのお客様であり、うちの先代から仲良くお付き合いさせていただいていました。細井さんからうちの先代に、先に話をしたいのですが、自分の中では安城ロータリクラブは敷居が高く、お話を伺っても何か遠い存在という印象でした。当時、青年部、業界の組合での役職を務めていましたので、そのことをお伝えした記憶があります。それから元会員の杉山淳一さんからロータリ増強委員会にお誘いを受け、そこで何人かの会員さんとお会いして食事をしながら、ロータリクラブについて、いろいろな話を聞かせてもらいました。その会で清水さんとお会いして、そのあと一緒に飲みに行きました。それが始まりでした。清水さんは他団体でもそのお店によくみえていて、僕が青年部のメンバーと行くと必ずと言っていいほど清水さんとお会いしました。毎日みえたのかもしれませんが、そこで「どうだ入るか、入ったらいいぞ、入るんだぞ、楽しいぞ」と約2年間、情熱をもって誘っていただきました。

それから当時の石川義典幹事から電話があり、会長の大見先生と石川幹事が会社にお見えになり2013年の6月に入会させていただきました。入会式もしていただき、ちょうどその年、結婚もしましたので、これまたたくさんお祝いしていただきました。大変ありがとうございました。

入会間もないころ、司会を担当していた時2週目と3週目のロータリーソングを間違えてかけてしまい焦ってやり直そうとして、今度はパースデーソングをかけてしまったことがありました。

もう冷や汗たらたらで、ご飯も食べれず例会終了後一人で弁当を食べていたら大嶽岩男さんがみえて、「次も頑張れよ」とやさしく声をかけてくださいました。ありがたかったです。ロータリークラブに入会していなければ出会えなかった方々や、経験できなかったことはたくさんあります。ちょうど入会して10年となります。これからも感謝の心をもって楽しくロータリー活動をしていきたいと思えます。入会する前から仕事で安城ロータリークラブの式典や事業の看板などを作らせて頂きました。

ここからは、私の看板業の話をしたしたいと思います。

私の会社の創業時は昭和40年代前半は、聞いた話によると映画看板やシャッターのイラスト・文字書きなどの仕事が多かったようです。

私が就職した当時1986年頃の看板業界には、現在のようなパソコンや文字を切り抜くような機械もなく仕事の殆どが職人さんの手作業でした。

木枠とトタンで看板を作り、看板の下地にペンキを塗り、そこに物差しでレイアウトし、筆で文字や絵を描くという仕事が主流でした。フリーハンドで、筆で文字が描けるようにと、日々仕事をしていたわけですが、平成に年号が変わるころ、カッティングシートという糊付きシートが開発され、データをパソコンで入力し、それをカッティングマシンという機械で、いろいろな大きさに文字をカットして看板に貼り付けるという作業に変化してきました。この機械の登場によって看板業界は大きく変わりました。

文字や絵を筆で描く仕事は減りましたが、男の職人社会だった看板業界にパソコンオペレーターや、切る貼るという仕事が増えたことで、女性が業界に増えてきました。我が社でも社員の半分以上が女性で、いろいろな場面でがんばってもらっています。

ちょうどこの頃から看板業界では、看板業からサイン業と呼び方を変えてきたようにも思います。

現在ではパソコンの中でデータを作製し、大型プリンターで出力したものや、カッティングシートを機械で切り抜き、それを看板に貼り付けるという仕事が、主流です。看板の照明も蛍光灯・ネオン管からLEDが主流になりました。

作業効率も格段に上がり、仕上がりもきれいで、筆で文字を描く仕事はほとんどなくなりましたが、色使いやレイアウト構成は看板に筆で文字を描いていた経験が大切だったと思うことがあります。

そこで今日は

1年に何回かは工場のでこぼこ壁面や、アスファルトなどの地面、シャッターなどに筆で書く仕事がありますので、今日は自分の修練もこめて文字の書き方を実演したいと思います。宜しくお願い致します。

